

今年アンケート結果をお知らせします。

「いいえ」「わからない」の回答が多かった事項について。

① 職員の配置数や専任性は適切であるか。

スタッフのほとんどが非常勤勤務で成り立っています。

勤務形態は様々で、放デイのサービス提供時間には短かく、

またこピーぬ反町JL-1の御利用されるお子さまの障がい区分は

多種です。そのような中、募集をかけても、中々雇用にいたらず、

日々の業務に終われる目です。

可能な限り、スキルアップを努力していますが、現状難しいのが、

課題です。また、配置基準という大きなハードルがあり、

個々の能力や適正より優先されることもあり、専任性を向上させる

ことが困難です。

そのような条件下においても、事業所として、今後とも努力をして

参ります。

② スタッフの資質向上を行なうために、研修の機会を確保しているか。

研修については、まずは常勤者をスキルアップを目指して、

行なっています。

ただし、常勤者を研修に出すためには、スタッフの補充が

必須とされます。現在のスタッフ人数で、1日出すだけでも

かなり大変な人数です。

人員数に余裕ができたなら、非常勤においても、積極的に

研修の機会を設けていきたいと思っております。

③ 父母の会など保護者同志の連携が支援されているか。

現在のところ、保護者の皆様方が相互に交流、連携する

会は組織化していません。

当事業所ではイベント「どの際、保護者の参加をよびかけ

ています。現状として、参加する保護者は多くはありません。

地域へ帰ることもたりと、著えすと、互いを支え、助けあい、

そして、心のよりどころとしても、同じ立場の保護者同志の

つながりはとても大切であると、著えております。

今後は積極的に会の設立をすすめていくように、支援を求め

場所の確保や、機会も、設けていくことを著えています。

保護者の皆様方々の自主的、自発的な御参加を、と協力をお願いいたします。